

高融点材料の金属粉末生産設備の導入による事業の拡大

企業紹介

ヒカリ素材工業株式会社

- 代表者：坂口 晋一
- 所在地：東御市加沢1313-1
- 従業員数：17人
- 事業内容：非鉄金属製造業
- 連絡先：0268-62-4357

支援を受けて

当社の事業と各補助金の情報の両方を理解されており、適切な事業内容の選定と事業計画策定への助言をいただき、その整理を進めることができました。良い経験をすることができ、感謝しています。



坂口 淳一 取締役

支援概要

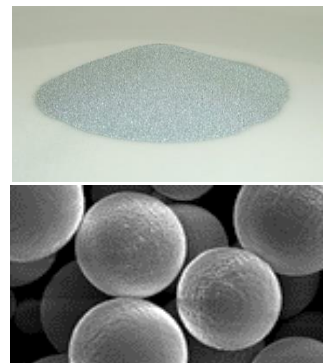
■企業の現状・課題及び支援の経緯

当社は、アルミニウム、銅などの高品質な非鉄金属粉末（写真）を製造している。用途は、表面処理法の溶射や薄膜形成のスパッタリング、金属3Dプリンターなどである。

近年、高融点材料の金属粉末の需要が各方面で強くなっており、この事業拡大のために、高融点材料を溶解できる溶解炉の導入が必要となっている。

この設備の導入について、商工会に相談があり、補助金活用の方で検討することになり、それに向けての支援の要請を受ける。

なお、2016年販路開拓支援、2017年に「経営力向上計画」策定支援を行っており、当社の製品や強みなどを把握しており、これをベースに支援を行った。



■実施した支援内容

- 1 「戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）」を提案する。
当初「ものづくり補助金」の活用を想定していたが、開発する金属粉末の用途が、国家的プロジェクトで研究開発を行っている次世代エネルギー開発に使われるものであったため、開発段階の補助金として「戦略的基盤技術高度化支援事業」（サポイン事業）を提案する。しかし、まだ試作前の開発の初期段階であり、本補助金の活用はもう少し開発が進んでから検討することを判断していただく。
- 2 事業内容を修正して「ものづくり補助金」の申請を提案する。
予定していた事業は、ものづくり補助金の事業期間である3～5年での事業化は難しく、高融点材料の他の用途である金属3Dプリンター用材料開発事業として「ものづくり補助金」の活用を提案し、この事業で計画を策定することになった。
- 3 事業計画策定および事業継続力強化計画策定の支援を行う。
金属3Dプリンター装置と材料の動向情報を共有化して鉄鋼、ステンレス、チタン合金、ニッケル合金などの高融点材料開発の事業計画策定に向けて、課題や差別化する内容の整理などの助言を行う。
また、防災・減災の準備、そして補助金の加点要素でもある「事業継続力強化計画」の策定を提案し、その策定方法の助言を行い認定を得た。

支援の結果及び今後の展開等

ものづくり補助金に採択され、設備導入をR2.11月に予定している。

これにより、製造できる金属粉末は、低融点材料だけでなく、高融点材料の製造が可能となる。製品に求められる品質を実現するための条件選定は非常に難しいが、これをクリアして、近年、非常に注目されて装置開発が急速に進んでいる金属3Dプリンターの高融点材料としての事業化を目指す。

支援を実施して

上席専門経営支援員 渡辺 稔

本事業の高融点で高品質な金属粉末開発は、市場のニーズにマッチしており、この製品化の実現により、素晴らしい技術とノウハウに更に磨きがかかり、今後、益々の事業拡大が期待できると思う。

また、今回の事業計画の策定は、社長の息子さんが中心となって取組んでおられ、事業承継も着々と進んでいることを感じた。



東御市商工会
市川柳主任経営支援員

